

まちの話題

すこやか青プラザ 1階交流スペース 愛称が「まつまつ広場」に決定

市が募集していた「すこやか青プラザ 1階交流スペース」の愛称が決定しました。

今回の愛称募集には 25 作品の応募があり、交流スペース利用者の投票により、最も多く票を獲得した作品を最優秀賞に選出しました。

最優秀賞は、宮崎響弥さん（今福・今福団地）が応募した「まつまつ広場」に決定。4月30日には、宮崎さんが通う松浦高校で、表彰式が行われました。

「まつまつ広場」を応募した理由について、宮崎さんは「生涯学習センターの愛称『きらきら 21』や今福町の交流センター『ふくふく』など使いやすく馴染みやすい愛称をイメージし、松浦の“まつ”と待ち合わせ場所の“まつ”を掛け合わせました」と話しました。

「まつまつ広場」は、年末年始を除く毎日、午前 8 時 30 分から午後 8 時まで、どなたでも自由に利用することができます。皆さんの待ち合わせ場所としてご活用ください。



▲表彰状を受け取った宮崎さん（右）

東京 2020 オリンピック 聖火リレー

東京 2020 オリンピック聖火リレーが5月7日と8日の2日間にわたって、県内各市町で開催されました。

松浦市では8日に聖火が到着し、松浦市文化会館をスタート。道の駅「松浦海のふるさと館」までの約 1.4km のコースで開催され、8人のランナーが聖火を繋ぎ完走しました。

文化会館イベント広場で行われたミニセレブレーション（出発式）では、松浦龍王太鼓の演奏が行われ、迫力ある演奏が聖火ランナーの出発を盛り上げました。

第1走者を務めた松浦市スポーツ協会会長の高尾 誠さん（御厨・池田）は「何事もなく、無事に役目を務めることができ安堵しています。スタートする際は、風が強くて大変でしたがとても賑やかな中走ることができ、光栄です」と感想を述べました。



◀（左）第1走者の高尾 誠さん
（右）第8走者の川久保 淳一さん

キンショーメロンまつり

キンショーメロンまつりが5月2日、道の駅「松浦海のふるさと館」で開催されました。

今年は、キンショーメロンが本市産品の核となる戦略産品「松浦の極み」に認定されたことから「松浦の極みフェア」として2年ぶりの開催となりました。

当日は、初夏の味覚を求めて早朝から多くの買い物客が訪れ、準備された約1,000ケースのキンショーメロンが2時間ほどで売り切れるなど、大盛況のうちに終了しました。



市長旗バレーボール大会

第16回市長旗バレーボール大会（松浦市小学生バレーボール連盟主催）が4月18日、松浦スポーツセンターで行われました。

市内の小学校から6チーム、1～6年生の約50人が出場。家族やチームメイトの応援を受けた選手たちは、軽快なプレーで会場を沸かせました。

大会の結果は以下のとおりです。
【優勝】鷹島クラブ（女子）【準優勝】新星クラブ
【3位】青葉クラブ、泉クラブ



わたしたちの郷土

～文化財は地域の宝～

埋蔵文化財センターの元寇紹介コーナーが新しくなりました

埋蔵文化財センターガイダンス施設内（鷹島町神崎免）の元寇歴史を紹介する映像コーナーを、令和2年度電源立地地域対策補助金を活用しリニューアルしました。

「元寇終焉しゅうえんの地 鷹島」の歴史や海底遺跡としては日本で初めて国の史跡に指定された鷹島神崎遺跡を解説しています。

さらに、鷹島の観光などの魅力を紹介するPR映像も見どころです。大型のスクリーン2画面に映し出される迫力ある映像がご覧になれます。

埋蔵文化財センターにぜひお越しください。



問合せ先 文化財課文化財係 ☎内線 356

▲投影機器を活用した映像